

福岡県指定無形民俗文化財

あさひ ざ にんぎょう しぼ い

旭座人形芝居本公演

2018
11/3
祝

旭座人形芝居会館

開館20周年

記念公演

13:30
開演

入場無料
自由席

会場案内

旭座人形芝居会館

〒834-1222

福岡県八女市黒木町笠原5005-2

〈問合せ先〉

八女市 文化振興課 文化係

TEL 0943-23-1982 (直通)

旭座人形芝居保存会について

旭座の起源は、1872（明治5）年ごろ、笠原地区の髷八集落に浄瑠璃の名人が現れ、祝いの座でひょうたんや徳利を人形に見立てて操ったことに由来します。

以後、九洲内の三座から首を譲り受けて芸題を増やし、農閑期には八女茶のPRを兼ねて興業にまわりました。1907（明治40）年に旭日に大鷹をあしらった引幕の寄贈を受け、地名に由来した「髷八座」から「旭座」と呼ばれるようになりました。1955（昭和30）年に福岡県無形民俗文化財に指定されたことを機に保存会を結成し、継承活動に取り組んでいます。



こぶき ききん ぼ そう
「寿式三番叟」
 旭座人形芝居保存会

能の「翁」を人形浄瑠璃に取り入れ、^{ひいこと}景事物として上演する儀式の舞が「寿式三番叟」です。旭座では、お米やお茶などの収穫に対する五穀豊穰と、息災延命を願い、毎年1月20日の「初光り」と、7月15日の「^{おきほわた}翁渡し」による「^{きわた}座渡し神事」が継承されています。右手に神鈴、左手に扇子を持ち、^{つみま}糺時きをイメージした躍動感あふれる動きで四方を清めます。黄金の稲穂が垂れるよう^{ふるい}篩から次々と糺を蒔きながら、くまなく舞台を駆け回り、皆様のご健勝とご多幸を記念します。

けいせいあわのなるこ しゅうれいうた
「傾城阿波鳴門」巡礼歌の段
 八女市立黒木小学校人形浄瑠璃クラブ

阿波の国・徳島藩で、名刀・国次が何者かに奪われる事件が起きる。藩士・十郎兵衛は、この刀を取り戻すため、盗賊銀十郎として、女房のお弓とともに浪速に住んでいた。その上、夫の十郎兵衛は、今日中に五十両の金子を用立てなければならない事情にあった。

ちょうど、金策で夫が留守のところへ、巡礼姿のかわいらしい女の子がご報酬に訪れる。お弓が身の上を聞くと、国は阿波の徳島、父の名は十郎兵衛、母はお弓と答えた。それは紛れもないわが娘、お鶴だったのだ。

お弓は娘に災いが及ぶことをおそれ、母と名乗りたい気持ちをぐっところえるが、お鶴は「小さい時に別れて親の顔もはっきりと覚えがなく、よその子たちのように、母さんに髪を結ってもらいたい」と泣き出してしまう。お弓も涙をこぼしながら、お鶴の身を案じ、徳島へ帰るように諭す。

そんなお弓に、「あなたが母さんのように思えてきました。何でもしますからここに置いてください」とお鶴は懇願するが、置いてやることはできない。お弓が帰りの旅費を渡そうとすると、お鶴は小判をもっているので心配ないと告げる。わが娘のいじらしさに打たれ、自分の^{かんざし}簪で髪を結び直し、泣く泣くお鶴を送りだしたお弓。しかし、このままでは二度と会えないと、連れ戻す決心をしてお鶴の後を追いかけていくのだった。

えほん たいこうき あまがさき
「絵本太功記」尼ヶ崎の段
 旭座人形芝居保存会

『絵本太功記』江戸時代中期の人形浄瑠璃および歌舞伎の演目で、近松^{よなき}柳・近松^{こすいけん}湖水軒・近松^{せんまこと}干葉軒の合作。人形浄瑠璃の初演は、寛政11年(1799)大坂豊竹座。

武智光秀(明智光秀)が、謀反により主君・尾田春永(織田信長)を本能寺で討った後、真柴久吉(羽柴秀吉)に敗れるまでの十三日間を一日一段で描く。発端と大詰を含め全十五段構成。最大の山場は十段目の「尼ヶ崎の段」。

「**尼ヶ崎の段**」光秀の母^{きつき}皐月は、謀反人となったわが子を赦すことができず、家族のもとを離れ、尼ヶ崎の閑居にいた。そのもとに、光秀の妻^{みさお}操が、息子・十次郎の^{いいなづな}許婚である初菊を伴って訪れる。

一方、旅の僧侶が一夜の宿を求めてきた。その正体は武智方の勇将に追われた久吉であった。ほどなくして十次郎も初陣の^{いとまご}暇乞いに訪れる。祖母と母に今生の別れを告げると、初菊との^{しゅうげん}祝言をあげて、そのまま戦場へと出陣していくのだった。

しばらくして、風呂が沸いたので旅の僧侶に入るようにすすめる。(公演ここから)光秀は藪蔭からでると、湯殿に入った僧侶は久吉に違いないと思い、障子越しに竹槍でひと突きする。しかし、そこにいたのはなんと母の皐月であった。皐月は光秀の謀反の罪深さを諷めるため、わざとその手にかかったのだった。その場へ十次郎も深手を負って戻り、味方の敗走を報告した。ここまで信念で行動してきた光秀も、死にゆく息子と母を前に、ついに耐え切れず慟哭する。

やがて迫る軍勢の音。僧から凜々しい鎧姿に変わり久吉が現れる。光秀と久吉は決戦を山崎の天王山で行うことを約束して、ひとまず別れを告げるのだった。



旭座人形芝居会館開館 20 周年記念公演 おたのしみ抽選会

- ・ご来場の方に演目の終了後、おたのしみ抽選会を行います。
- ・応募できるのは公演当日の会場内のみです。
- ・氏名を記入の上、演目が終了するまでの間に、会場内に設置した応募箱に投かんして下さい。(必ず、ふりがなを記入して下さい)
- ・応募はお一人につき一枚までとなります。複数枚応募されても、2枚目以降は無効となります。
- ・抽選時点で会場内にいらっしゃらない場合、当選は無効となります。

キリトリ線

応募券

(ふりがな)

(姓)

(名)